

高知憲法速報

No.269 2011. 9. 22

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

自衛隊の教育への進出、国民への浸透に警戒を

東北地方大震災で自衛隊は 10 万人というかつてない規模の救援・救出作戦を展開し、米軍 1 万 6 千人の「トモダチ作戦」と併せて国民に大きくアピールした。

長崎県佐世保市相浦の陸自西部方面隊は毎年市街地での武装パレードを行い平和団体が抗議行動を行っているが、今年はパレードの先頭に東北での活動を見せる展示、ハイチ派遣自衛隊が続き、その後に武装した自衛隊員が行進した。抗議の宣伝行動を行っていた団体に対して、市民から非難する声があったという。

学校現場では総合学習の場に自衛隊が出ることが増えていたが、今年は道徳で「いのちの大切さを教える授業」として、災害派遣隊員が迷彩服で授業をした学校が沢山ある。報告されたものだけで 16 県 38 校に上っている。反動的な歴史・公民教科書採択の動きが、沖縄八重山地方や岩国、横浜など基地周辺の自治体で強力に行われたことも報告された。日米同盟を強化する側からの思想攻撃として捉えなければならない。

最大の国家公務員組織である自衛隊が今回のかつてない大震災に対して災害救援に当たったことは当然だが、災害の多発する日本では、本来災害救援のための資機材と能力を持った専門の組織があっても良い。しかし自衛隊の本質は軍隊である。災害救援には戦車も鉄砲も大砲も不要である。米軍は「総合支援部隊」(JSF)を立ち上げ「トモダチ作戦」を開始、最大人員 2 万人、艦船約 20 隻、航空機約 160 機を投入した。米軍横田基地、市ヶ谷防衛省、仙台の 3 カ所に「日米共同調整所」を設置して、米軍主導の共同作戦を行った。これらの内容は「憲法運動 8 月号」の佐藤光雄論文『「トモダチ作戦」の本質と日米軍事協力』に詳しい。

防衛省は全国で防衛セミナーを計画、広島の中四国防衛局主催のセミナーは、広島県と中国新聞社が後援、第 1 術科学校長(陸将補)他 2 名が講演する。近畿のセミナーはアメリカ総領事館が後援、講師の中に自衛隊軍事訓練担当者が入っている。自衛隊の国民への浸透に警戒が必要だ。 **平和委員会全国理事会での報告より**

日米共同演習「ヤマサクラ YS61」について

陸上自衛隊と米陸軍が来年 1 月 31 日から 2 月 5 日まで、陸自中部方面隊総監部のある伊丹駐屯地(兵庫県伊丹市)で、共同指揮所演習「ヤマサクラ 61」(YS61)を実施します。米軍は太平洋陸軍(ハワイ)司令官のフランシス・ワーシンスキー中將が、陸自は中部方面総監の荒川龍一郎陸将がそれぞれ総責任者になります。

演習シナリオは「朝鮮半島有事」の結果、半島南部のシラ(新羅)から米軍が撤退。北部バルヘ(渤海)を勢力圏に入れた半島北隣の大国「ハンナン人民共和国」が一層の勢力拡大をめざし日本を侵略するという中身です。ハンナンとバルヘへの連合軍 5 個師団が西日本の分離・支配と大阪占領をめざし金沢市と鳥取県米子市に上陸を開始。進攻阻止防御戦闘を実施する陸自中部方面隊を、米太平洋陸軍・第一軍団司令部指揮下の米軍地上部隊が支援し、“侵略軍”を打破する内容です。これには「ハンナン」が攻撃・占領した島根県隠岐の島町の港などを、陸自第 1 空挺団(中央即応集団所属)と、米陸軍空挺旅団戦闘団が共同で奪還する作戦も含まれています。

非現実的なシナリオですが、中国の脅威をあおり、島嶼防衛など軍事体制強化を進める日米軍事当局の意図を表したものです。事前にシナリオが明らかになったのは初めてのことです。

はた九条の会連絡会記念講演会 10・1

日時; 10 月 1 日(土)13:30~

場所; 四万十市社会福祉センター・2 階大ホール
交流会; 土佐清水、宿毛、大月・九条の会から報告
記念講演; 女優・日色ともゑさん

「あの時、生きのびた私は一東京大空襲一」
主催; はた九条の会連絡会 入場無料・会場カンパ

女性「九条の会」高知 6 周年のつどい 10・2

日時; 10 月 2 日(日)13:30~16:00

場所; 自由民権記念館
記念講演; 関西学院大学教授・野田正彰さん

「野田正彰が語る現代の日本—東日本大震災・自殺者年間三万人の日本」

秋の歌; 高知センター合唱団

主催; 女性「九条の会」高知

10 月の街頭宣伝署名予定

10 月 1 日(土) 15 日(土) 九条の会 1:30~

10 月 19 日(水) 憲法会議 5:30~ 帯屋町